

受験番号

11010年度 B I 選考

国語 その一

〔一次の文を読み、あととの問い合わせに答えなさい。解答に字数の指定が

ある場合は、句読点やかつこの記号も字数として数えます。

(設問の都合上、原文の表記を一部改めたところがあります。)

ある※クレタ島人が、「すべてのクレタ島人は嘘つきである」と言った。さて彼の言うことは「本当」だろうか、それとも「嘘」だろうか。

この問題の「うーむ、どう考えればいいのか」と人の頭を悩ませる中心点、(A)、この問題が難問になつていて、コンボンの理由は、われわれが、誰かの言葉は「ほんとう」か「うそ」かのどちらかだと思い込んでいる、という点にある。(※ラッセルという哲学者もテインケイ的には(①)の考え方にはまりこんで、(②)を解けない難問と考えてしまつたのだ。

人の言うことは、すべて「ほんとうか嘘か」のどちらかだろうか。もちろんそんなことはない。(B)「私は二〇歳です」という言葉は、事実にかかわっているから、彼が二〇歳でなく二一歳だったなら「嘘」ということになりうる(この場合も、彼がわざと欺くつもりで言つたのでなければ、單なる「思い違い」だと言ふことも可能だが)。

「明日は晴れだよ」といった場合はどうか。これは「事実」にかかるというより、予想あるいは意見なので、直接真偽には関係しないと言える。さらに、「人の人生は短い」はもつと真偽に関係なくなる。だから、(③)すべての言葉が「ほんとう」か「うそ」かのどちらかだけは言えない。このことは誰にも分かるだろう。ところが、クレタ島人の話では、その発言はたしかに「事実」に関する言葉のように見える。しかしそのとき君は、彼の言うことは「ほんとう」か「うそ」かのどちらかだ、と考えるだろうか。(④)決してそんなことはない。

君はどう考えるか。「この人は何を言いたいのだろうか、この島には

観光客自當でにこまかしたり、ちよろまかしたりする商売人が多いのと、親切心で、ケイコクしてくれているのだろうか。それとも、なにかむしやくしやすることでもあつて、自分の島の人間の悪口でもいいたいのだろうか。他の可能性もあるが、まずそんな風に考えるだろう。

それだけではない。仮に君がきわめてマジメな性格で、(⑤)彼が「ほんとう」を言つているのまま受け取つたとして、しかしそのとき君は、彼が「クレタ島人はみんな嘘つきである」と言う以上、クレタ島人はあらゆる機会につねに必ず嘘をつく、と考えるだろうか。(C)、そうである以上彼がいま言つていることもまた嘘だということになる、と考えるだろうか。もしそう考えるにしたら、君は、何かの具合で頭のネジが外れてしまつているのだ。要するに、現実の言語では、あるクレタ島人が「すべてのクレタ島人は嘘つきである」と言つたとして、実際にここにいわれているような難問や逆説を受けとつて困るような人は一人もないのだ。この問い合わせが、逆説や難問と感じられるにしたら、実際多くの人がそう感じるわけだが、それは、実際の言語の使用では決して起こらないあることが、起こるかのように錯覚するからである。つまりこれは、三次元(立体的)のものを二次元(平面)で表現することで作り出される※エッシャーの騙し絵のようなもので、問題は、(⑥)の錯覚を指摘することによって解明されるのだ。

(竹田青嗣「哲学ってなんだ」)

注
※クレタ島＝地中海にある、ギリシヤ共和国最大の島。

※ラッセル＝パートランド・ラッセル。イギリスの論理学者・哲学者。

※言表＝音声にした言語表現のこと。

※逆説＝一見真理に反するように見えて、よく考へると一面の真理を表している説。

※エッシャー＝不思議な絵で有名な、オランダの画家・版画家。

問1 〔 a ~ d のカタカナを漢字に直しなさい。〕

a	b
c	d

問2 本文中の(A)~(C)に入る言葉として適切なもの

を次のア～カから選び、記号で答えなさい。

ア だから イ さらに ウ 例えさ
エ つまり オ なぜなら カ ところが

A
B
C

問3 〔①「この考え方」とあるが、どのような考え方か。「～」という考え方。〕に続くよう、文章中から二十字以上二十五字以内で抜き出しなさい。

問4 〔②「これ」とは、どのようなことを指しているか。文章中の言葉を使って書きなさい。〕

I
II

問5 〔③「すべての言葉が『ほんとう』か『うそ』かのどちらかだとは言えない」とあるが、それはなぜか。その理由をまとめた次の文の空らんI・IIにあてはまる言葉を、文章中から抜き出しなさい。〕人の言葉には【 I 】などの、直接は【 II 】のものも含まれるから。

受驗番号

問6 —④「決してそんなことはない」とあるが、ここで筆者はどのくらいなことを言っているのか。最も適切なのは、一つの

選び、記号で答えなさい。

ア クレタ島人の言うことは、一見ほんとうのことであるかのよう
に見えて、裏表の二つはほんとうの二つではない。二つ。

は見えて、実際のところにはんとシのことでないといふこと、イクレタ島人の言うことは、ほんとうかうそかのどちらかに分か

れる問題であるかのように見えて、現実的にはそうは考えないと
いうこと。

ウ クレタ島人の言うことは、直接真偽には関係しない問題に見え

エ　　が、実際は真偽のはつきり分かれる問題だということ。
　　クレタ島人の言つことは、一見難解で答えが出ない問題である

ようでいて、実際には明確な答えが出る問題だということ。

100

卷之三

——⑤「彼が『ほんとう』を言つているとそのまま受け取つたと

して」とあるが、これは具体的にはどう受け取った場合のことか。

アすべてのクレタ島人は本当のことを言うと受け取った場合。

ウ イ
すべてのクレタ島人は嘘つきとは限らないと受け取った場合。
すべてのクレタ島人は嘘つきではないと受け取った場合。

工 すべてのクレタ島人は嘘つきであると受け取った場合。

100

1000

1

問8 一(6)「二の錯覚」とは、何をどのように錯覚する事か。文章中の言葉を使って、四十五字以内で書きなさい。

二 次の文を読み、あととの問い合わせに答えなさい。解答に字数の指定がある場合は、四字で答えて、つづきに二字で答えて。三段に二段と三十。

(設問の都合上、原文の表記を一部改めたところがあります。)

「私」は七十四歳の女性で、今は独りで自由に暮らしている。年齢のため、足が少し痛むほかは至って健康なのだが、ある日買い物帰りに同世代の女性から声をかけられた際、「年寄り仲間」としてひとくくりにされたことに反抗心が芽生える。

①ゆっくりと、少しすつなにかが私から消えていく。それは確かだ。でも人が歩む道つて、いろいろあつて曲がりに曲がったとしても、（A）細くなつて、いつの間にか見えなくなつて、そういう形をしているものなのじやないの。せめて終わりだけはおだやかに過ぎ（した）いと柄にもなく思つていいけど、（B）生まれつきつていうのは、恐ろしい、そう思うさきからやりたがりやの血が騒ぎ始める。ちんまり、おだやかに過ぎ（す）なんて、やつぱり、やだ、やだ。

※ボディ＝バイクの車体
※ナビ＝「ナビゲーション・システム」のこと。現在地や目的地までの道順を知るために使う電子機器。
※醸翻味＝ほんとうの面白さ。
※百五十cc＝排気量百五十ccエンジンのバイクのこと。
※ナナハンド＝非電量七百五十ccエンジンのバイクのこと。

※百五十ccの排気量のバイクのこと。
※ナナハン=排気量七百五十ccエンジンのバイクのこと。

A 切なものを次から選び、記号で答えなさい。

1

この際欲はつてもいいのよ。（B）面白く……。
この夢見がち、冒險したがりぐせは、どうせ死ななきや直らないん
だから。
そう認めてしまつたら……。やりたいこと……あるわ、あれ。
もう一度、バイクで思いつ切り走りたい！ 風をまともに受けて、
走りたい！ 自分が道か、道が自分がわからなくなるような、あの不
思議な一体感をあじわつてみたい。
やつちやおうかな、そうよ、私のラストラン！
思いついたらもう（C）していられない。すぐ、すぐ乗りたい。
この気持ちは、二十三で、免許を手にしたときから全く変わつてない。
私はまた手提げを抱え込むと、町に引き返した。目指すは、いつも
気にしていた通りのはじつこのオートバイ屋さん。^④待つていたように
開いた自動ドアをするりと抜ける。買うなら、※ボディは派手な真っ赤
にしたい。しばらくござただつたけど、こうして見ると、オートバ
イって驚くほど進化をつづけている。※ナビもつけられるじゃないの。
走り出したら、どこへ行くかわからない私にはとつてもありがたい。
でもどこに行くかわからないつていうのが、本当は走りの
※醍醐味なんだけどね。
つなぎ服の可愛い男の子が寄ってきた。
「おばあさん、なにかお探しですか？」
「お孫さんへプレゼントですか？」
私は（D）言つてのけた。
「※百五十。こにしようが、一百五十にしようが、迷つてるの」
とたんに可愛いつなぎのおにいちゃんが、^⑤うすぎたない男に見えて

受験番号

問2

—① 「ゆっくりと、少しづつにかが私から消えていく」とあります。これはどのようなことについて表現しているのですか。

最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 記憶が失われていくこと。
イ 年老いていくこと。
ウ 病気が進行すること。
エ 家族が離れていくこと。

問3 —② 「生まれつき」とあるが、「私」は生まれつきどのような性格であると書かれているか。性格を表現している言葉を三つ、文章中でてくる順に抜き出しなさい。

問4

—③ 「やりたいこと」とあるが、それはどのようなことか。「体感」という言葉を用いて五十字以内で書きなさい。

問7

—⑥ 「おにちゃんはかえるがひっくり返ったような声を出したた」について。(1) どうしてこのような声を出したのですか、答えなさい。

ア 直喻 イ 暗喻 ウ 擬人法

(1) ここでは比喩表現が使われている。その比喩の種類として最も適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

竜 空 蛇 絶 口 名 音

1

2

3

4

5

(3) 次の会話の(1)～(10)から、敬語の使い方が間違っているところを三つ探し、番号で答えなさい。

小川 「もしもし、清水さんのお宅ですか。」
清水 「はい、清水でございます。」

小川 「私、小川と申しますが、お父様は(1)いらっしゃいますか。」
清水 「ただいま、出かけて(2)いらっしゃいます。夕方にはむどるかと(3)存じますが。」

小川 「そうですか。懇親会の牛で(4)お電話したのですが。後ほど、また(5)お電話なさいます。」

清水 「それでは、(6)お父さんがもどりましたら、(7)お電話を差し上げるよう、伝えましょうか。」

小川 「そうしていただけると、(8)助かります。」

清水 「小川様ですね。失礼ですが、(9)連絡先を(10)うかがつてもよろしいですか。」

小川 「01-2345-6789です。それでは、お父様によろしく

問6 —⑤ 「うすぎたない男に見えてきた」とあるが、このときの「私」の心情として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア バイクの初心者だと思われたことに腹を立てている。

イ 孫などいないのに孫がいるとかんちがいされて腹を立てている。

ウ 人を見た目だけで判断するような対応に腹を立てている。

エ いきなり「おばあさん」と声をかけたことに腹を立てている。